



日刊千葉労働

国鉄千葉労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (労働車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番

(公) 043(222)7207番

97.4.11 No. 4579

沖縄は告発する!

4.17特措法反対集会へ

橋本内閣による米軍用地強制使用のための「特措法」改悪に対する怒りと反対の声は、沖縄の人々をはじめ全国に広がっている。

「特措法」改悪の重大性については、日刊四月七日付四五七六号で暴露した通りである。要するに、他人の家に押し入った強盗にそこに住み続ける権利を法で認めるというようなものであり、土地強奪のための特別立法はいかなる場合でも使用しつづけるといふものであり、沖縄地はいかなる場合でも使用しつづけるといふものである。

橋本内閣の居直りと二枚舌は怒りの炎に油を注いでいる。

橋本は、四月二日の屋良朝苗元沖縄県知事の県民葬で「県民の苦しみ負担に対し、私たちの努力が不十分だった。沖縄の痛みを分かち合い、新生沖縄を実現させたい」などと歯の浮くようなことを言い、その舌の根も乾かぬ翌日には国会に特措法改悪案を上程したのである。

人民大衆を愚弄するのもいいかげんにしろ! こうした暴挙を反対もせず許して、次は國鉄問題で、行革で…何をして

かすか本当に恐ろしい事態である。

【第三次安保・沖縄闘争】を全力で闘おう

「デタラメな特措法の成立を阻止するため」に起ち上ろう!

—4.6代々木ハム園大集会—

三回にわたる強制使用の歴史の上に新たに屈辱の歴史を上塗りするものであり、政治の荒廃をもたらすものだ。デタラメな法の成立を阻止するために起ち上がろう」と訴えた。

四月六日、東京代々木公園において、一坪反戦地主会関東ブロックの呼びかけによる「沖縄の闘いと本土労働者の反戦・反基地・安保粉碎の根強い決意と闘いが、戦争のための土地取り上げ絶対反対で、いま燃え上がっている。この力をさらに大きく、強くしなければならない。

この闘いは、同時に革マルの敵対との対決である。

彼らは国鉄闘争のなかで沖縄の闘いに攻撃をしかけ、逆に「

利敵集団許すな」「現代のゲシユタボ」等々と激しい弾劾を受け、完全に孤立するに到つてゐる。JR総連革マル解体・組織拡大をさらに押し進め、国鉄闘争勝利、第三次安保・沖縄闘争の爆発に全力でたちあがろう!

沖縄三者共闘(沖縄反戦地主会、違憲共闘会議、一坪反戦地主会)の呼びかける「四・一七全国集会」に一人でも多くの組合員が総結集しよう!

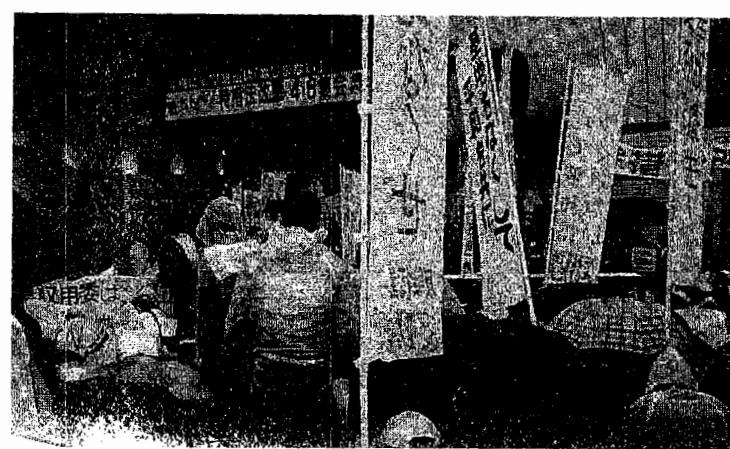
渋谷宮下公園までのデモを闘いぬいた。

全体会の組合員の皆さん!

【特措法の成立阻止へ】四月連続闘争に決起を

特措法「改正」を許さない闘いはこれからが勝負です。

四・一七沖縄三者共闘(沖縄反戦地主会・違憲共闘会議・一坪反戦地主会)主催による総決起集会に全力で結集しよう!



●四・一七特措法反対東京集会●

とき 四月一七日 (金)

ところ 東京・サニーハム園(浜松町から一五分)

指定列車 千葉駅一〇番線 一六時四四分始発快速

第二陣 千葉駅八番線 一七時二五分

ドーザによる強奪これまで
また、一坪反戦地主会代表世話人の新崎さんは「銃剣とブル